

ポストコロニアル台湾の日本語作家

～黄霊芝の方法～

下岡友加（広島大学）著 4,600 円＋税

正岡子規国際俳句賞受賞者であり、台北俳句会を45年牽引してきた日本語作家・俳人の黄霊芝の方法を詳らかにする書。作家との対話三篇も収める。 ISBN978-4-86327-467-9



序 黄霊芝とは誰か？

- 一 黄の履歴
- 二 黄の言語観

第一部 小説と俳句の諸相

総論 黄霊芝文学におけるブラック・ユーモア

- 一 笑いの戦略—奇想天外な発想とどんでん返し—
- 二 自嘲のなかの本音—小説「ユートピア」の方法—

第一章 小説「董さん」

- 一 不条理の連鎖—二・二八事件と西来庵事件—
- 二 民族・国籍・血縁の越境—語りの方法—

第二章 小説「蟹」

- 一 他者を食べる、他者に食べられる—世界の循環—
- 二 なぜ蟹か？—新しい蟹物語の創出—
- 三 乞食の「おい」に託された役割

第三章 小説「紫陽花」

- 一 聴覚（声）を信奉する主人公
- 二 おそろべき妄想の力
- 三 淋しさの所以

第四章 小説「豚」

- 一 天邪鬼「私」の挫折
- 二 喜劇の装置—妻と娘という他者—
- 三 知識人／芸術家批判

第五章 小説「仙桃の花」

- 一 愛の不条理という主題
- 二 錯誤の所以
- 三 聖なる人物の愛は実るか？

第六章 俳句「自選百句」

- 一 「自選百句」の出自
- 二 リズム—破調の所以—
- 三 季語—台湾＋日本という複眼—
- 四 音調重視、会話体の活用—自由自在へ—

第二部 作家との対話

第一章 二〇一一年八月二八日の記録

- 一 台北俳句会のこと
- 二 ジャンルと言語の越境について
- 三 作品を書く理由

第二章 二〇一二年五月二〇日の記録

- 一 小学校時代の記憶
- 二 交通事故のこと
- 三 戦後の生活
- 四 俳句と彫刻の相似

第三章 二〇一二年七月一五日、同年九月一六日の記録

- 一 呉濁流の思い出
- 二 台北俳句会成立事情
- 三 ペンネームについて

結 黄霊芝研究のこれまでと今後

台湾に於ける主な日本語文芸グループ一覧表

あとがき

初出一覧

付 黄霊芝略年譜

ポストコロニアル台湾の日本語作家

下岡友加（広島大学）著 4,600 円＋税 ISBN978-4-86327-467-9

個人・書店様注文書

| | |
|---------|----------|
| お名前 | ご注文冊数 |
| | 冊 |
| ご住所（〒 ） | お電話番号（ ） |

【書店様】
ご注文の際には
溪水社宛に FAX
をお送り下さい。

FAX
082-246-7876

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は